

Windowsの歴史とMicrosoft Officeの歴史

Windowsの歴史

発売年	1995	1998	2000	2001	2007	2009	2012	2013	2015
Windows	95	98	Me	XP	Vista	7	8	8.1	10
延長サポート 終了時期	既終了	既終了	既終了	2014/4/8 既終了	2017 4/11	2020 1/14	2023 1/10	2023 1/10	2025 10/14

Windows95と98があったのでWindows9ではなくWindows10となった。

WindowsとMicrosoftOfficeの対応 ◎：プレインストール、○：OK、△：多分OK、×：不具合あり

		Windows									サポート 終了	拡張子 Word/Excel
		95	98	Me	XP	Vista	7	8	8.1	10		
MS Office	95	◎	○	○	△	△	△	△	△	×	既終了	.doc/.xls
	97	○	◎	○	○	△	△	△	△	×	既終了	.doc/.xls
	2000	○	○	◎	○	△	△	△	△	×	既終了	.doc/.xls
	2002	×	○	○	◎	△	○	△	△	×	既終了	.doc/.xls
	2003	×	×	×	○	◎	○	△	△	×	2014/4/8	.doc/.xls
	2007	×	×	×	○	○	◎	○	○	○	2017/10/10	.docx/.xlsx
	2010	×	×	×	○	○	◎	◎	◎	○	2020/10/13	.docx/.xlsx
	2013	×	×	×	△	△	○	○	○	◎	2023/04/11	.docx/.xlsx
	2016	×	×	×	△	△	SP1○	○	○	○	?	.docx/.xlsx
Windows10マシンでOffice Premium搭載機はいつでも最新版にアップグレード可												.docx/.xlsx

ファイルの拡張子(Word: .docか.docx、Excel: .xlsか.xlsx、画像: .jpgや.pngなど)は標準状態では表示されない設定になっているが、簡単な操作で表示する様に設定でき、表示すると便利です。

検索ツールで“ファイルの拡張子を表示”で検索し、自分のWindowsに適合した物をさがします。

Windowsによって初めの部分が異なりますが、最終的にはフォルダオプションの表示タブ内にある“登録されている拡張子は表示しない”のチェックを外すだけです。

※1 Office2003以前は保存形式は1種類(Wordは.doc、Excelは.xls)だけだった。

※2 Office2007からは保存形式は標準の1種類(Wordは.docx、Excelは.xlsx)の他に旧の97-2003形式(Wordは.doc、Excelは.xls)も選択できる。読み込みはどちらも問題無くできる。

※3 Office2016からは保存形式は標準の1種類(Wordは.docx、Excelは.xlsx)だけになり、読み込みも旧形式(.docや.xls)では上手く読めない様だ。

※4 上記のことから、Office2007-2013以降を使用している人は新形式で保存することを薦めます。保存したファイルサイズもExcelの例ではあきつ会名簿[.xls]では704KBだが、[.xlsx]では296KB Wordの例では川柳118[.doc]では46.5KBだが、[.docx]では22.9KBと小さくなります。

※5 どちらの形式で保存されているかは拡張子を表示させていれば末尾に[x]が付いているか否かで分かりますし、アイコンの「X」や「W」の左上が角かRかでも分かります。



Excel2007以降で便利になった点、

- ・ 使用できる行数・列数が大幅に増加した。
- ・ 条件付き書式の数の制限(3)が廃止された。
- ・ アドインをインストール(パソコンには入っている)すればPDFファイルで保存できる。PDFファイルはAdobe社が提供している形式で画像形式なので作成者のPCだけに入っている文字やフォントでも誰でもが正しく閲覧出来る。

Excel2007以降で不便になった点、

- ・ グラフや図形の内容が事前設定されていて、自分好みに変更するのが容易ではない。

全てのWordやExcelで不便なこと。お節機能が多すぎる。

- ・ オートコレクト(英語の最初が大文字で2番目以降が小文字に固定などなど)が困る。例えば「kW」のkは1000を表す接頭語で必ず小文字、Wは大文字。「Kw」では大間違い。
- ・ Wordで番号付け(1. とか2. とか)をすると、勝手に空白が入ったり、次の行も引きずる。

これらのお節機能は外すことが出来る。

Windows10にアップグレードするべきか

- ・ 最近Windows10への無償アップグレード案内が表示されるが、アップグレードは無償でも種々の問題点があり、対応を良く確認してからアップグレードするべきである。
 - ・ ハードウェア(プリンタ、カメラ、スキャナなど)がWindows10に対応しているか。
 - ・ ソフトウェア(Microsoft以外から自分で導入したソフトなど)がWindows10に対応しているか。
- ・ 使い難いWindows8なら早く行っても良いが使い易いWindows7なら延長サポート終了の2020/1/14まで様子を見るのが良いだろう。